

0389

5

保存期限	三年	決裁指定	局長 委任	決行指定
------	----	------	----------	------

房官臣大		課局務主		大臣委		件名 亡失物件補償ノ件	受領番 陸軍普受第五九七六號 起元廳(課)名 第三航空軍司令部
了結	領受	出提	領受	局長	次官		
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	局長	次官	政務次官	參與官
(裁決)行決後 覽回		帶連		高級副官		書記官	
局長		局長		主務副官		審案	
長課		長課		主務課員		筆記者	

政務次官  
參與官  
同付  
決裁前  
連帶  
課名  
主計  
衣糧  
軍事

決行(決裁)後  
同覽課名

陸軍普案

副官ヨリ第三航空軍參謀長へ通牒

九月十九日附三航軍經主第三一號ヲ以テ申請ニ係ル首  
題ノ件ハ左記ノ通 支給方認可セラレタルニ付依命通  
牒ス

左記

全九拾五團也

陸軍技手 大塚 寛

陸軍普第一一〇二號 昭和拾七年拾月八日

陸

軍

官氏名		亡失物件員数		申請額		補償標準額		査定額	
陸軍技手 大塚寛		冬官新制式 冬官旧制式	1	3300	4000	2900	4500	2900	
長靴		冬官新制式	1	1500	3000	1500	4500	1500	
行李代用 トランク			1	800	2000	800	4500	800	
計				3600				9700	
決定額								9500	

亡失毀損被服裝具品種評價格調書

第三航空軍

陸軍



五九七六

三航軍経主第三號

艦船沈没ニ伴フ亡失被服對ル手当金支給方ノ件申請

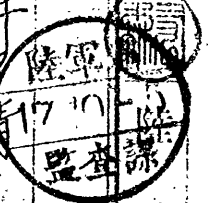
昭和十七年九月十九日

第三航空軍司令官 菅原道大

陸軍大臣東條英機殿

首題ノ件別紙調書通り船舶沈没ニ依リ所持被服裝具ヲ亡失セシ  
ニ付陸軍戦時給與規則第十一條ニ依ル手当金支給方詮議相成度

申請ス



輸送船爆沈ニ因ル被服裝具亡失調書



陸軍

一七失者所屬官民名 第九野戰飛行場設定隊陸軍投手大塚寛  
ニ手当金支給ノ事由

昭和十六年十二月三十日隊長ニ隨行シ飛行場設定偵察ノ目的ヲ以テ駐留  
地呂宋島「ウガン」ヨリ「カバナシ」及「マラ」ニ隊員若干名ト共ニ先行セリ 他方  
十二月三十日非戰鬥員及器材、被服、糧秣類ハ護衛兵ト共ニ輸送船  
「帝雲丸」ニ依リ進發セリ

當時ノ狀況ハ陸路前進スル車輛少ク且積載量ニ制限アリ不得己左ノ  
被服裝具ハ前記「帝雲丸」ニ依リ輸送セリ 然ル所偶々同船ハ昭和十七  
年一月一日午前八時十五分呂宋島「ウガン」港「サントトウ」外(東經  
百二十度十八分北緯十六度十分)ノ地矣ニ於テ機雷ニ接觸被爆沈没セリ  
被爆沈没三分間ニシテ人員ノ救助モ半数ニ滿タル狀況ニ在リ爲メニ  
積載品全部爆沈亡失セルモノナリ

三七失當時ノ程度及品種數量金額

										内訳	
品目	単位	数量	買入当時価格	亡失当時程度	支給額	摘要					
文官制式冬装	着	一	八五〇〇〇	二装程度	五一〇〇〇						
文官旧制式冬服	組	一	五五〇〇〇	"	三三〇〇〇	新調價格ノ					
文官新制式冬服	"	一	四八〇〇〇	"	二九〇〇〇	六割トシテ					
長靴	足	一	二五〇〇〇	"	一五〇〇〇						
行李代用トシテ	個	一	二〇〇〇〇	三装程度	八〇〇〇	全四割トシテ					
計			二三三〇〇〇		一三六〇〇〇						
戦後ノ整理業務繁多ナリニ依ル 四申請遅延ノ理由											

東京・小津橋